国宝・重要文化財40件以上を含む相国寺派の名品を中心に紹介し、相国寺の美の世界をみつめ、未来へ託します。

※会期中、一部作品の展示替えを行います。前期 3月29日(土)～4月27日(日) 後期 4月29日(火・祝)～5月25日(日) 期間表記のない作品は、通期での展示を予定しています。

創建相国寺——将軍義満の祈願

勧請開山となった夢窓疎石の肖像画。——相国寺の歴史はこの作品にはじまる。

《夢窓疎石像》夢窓疎石賛 南北朝時代 14世紀 相国寺蔵【前期展示】

相国寺を発願した足利義満。教科書で良く知られた室町幕府三代将軍の僧侶姿の肖像画。重要文化財

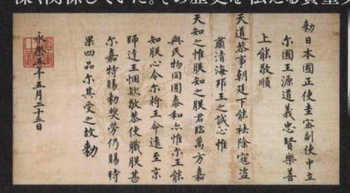
《足利義満像》
伝 飛鳥井雅縁賛
室町時代 15世紀 鹿苑寺蔵
【後期展示】

相国寺六世絶海中津が持ち帰ったと伝わる中国画。探幽や若冲も手本とした重要作品。重要文化財

《鳴鶴図》文正筆 中国・元～明時代 14～15世紀 相国寺蔵【前期展示】

相国寺は、室町幕府三代将軍・足利義満(1358～1408)が永徳2年(1382)に発願し、京五山禅林の最大門派であった夢窓派の祖・夢窓疎石(1275～1351)を勧請開山に迎え、高弟の春屋妙葩(1311～1388)を実質上の開山とし創建された禅宗の古刹です。今も京都の地、御所の北側にその大寺の姿を誇り、金閣寺、銀閣寺の通称で名高い鹿苑寺、慈照寺を擁する臨済宗相国寺派の大本山です。創建から640年あまりの歴史を持つ相国寺は、時代を通じ、数々の芸術家を育て、名作の誕生を導いてきました。室町幕府の御用絵師とされる相国寺の画僧・如拙と周文。室町水墨画の巨匠と称される雪舟。江戸時代の相国寺文化に深く関わった狩野探幽。そして、奇想の画家・伊藤若冲、原在中、円山応挙……。中世に規範を得た相国寺文化圏の美の営みは、近世、近代、現代へと時を繋ぎ、相国寺、鹿苑寺、慈照寺が所有する美術品は相国寺境内にある承天閣美術館で公開されてきました。本展覧会は、相国寺承天閣美術館開館40周年を機に開催するものです。

室町時代の日明関係には相国寺が深く関係していた。その歴史を伝える貴重文書。



《永楽帝勅書》永楽帝筆
中国・明時代 永楽5年(1407)
相国寺蔵【後期展示】 重要文化財

相国寺を通じて日本に請来された羅漢図の傑作。16幅を前後期で全点展示。

《十六羅漢図》陸信忠筆
中国・南宋時代 13世紀 相国寺蔵 重要文化財 寶度羅跋囉惰闍【前期展示】

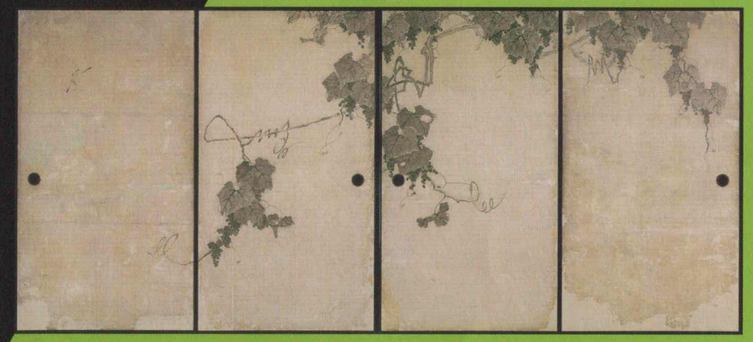
新奇歓迎！古画礼讃！——若冲が生きた時代

亀が見上げるのは尻尾から伸びた緑毛。長寿を象徴するこの作品に若冲は「八十八歳」と記したが、実は八十五歳頃の作とされる。

《亀図》伊藤若冲筆 聞中淨復賛
江戸時代 寛政12年(1800)頃 鹿苑寺蔵

鹿苑寺(金閣寺)大書院の障壁画。一之間に描かれた葡萄小禽図と裏面の松鶴図が同時鑑賞できる好機！

50面におよぶ



《鹿苑寺大書院障壁画 一之間 葡萄小禽図》伊藤若冲筆
江戸時代 宝暦9年(1759) 鹿苑寺蔵

中世相国寺文化圏——雪舟がみた風景

この鳳凰の図は雪舟から若冲にまで影響を与えた。明時代の宮廷画家を代表する林良が描く大作。

《鳳凰石竹図》林良筆
中国・明時代 16世紀 相国寺蔵
【前期展示】 重要文化財

雪晴れの日に旅人たちの姿が——。中国の山水画に絶海中津が詩を寄せる。

《寒山行旅山水図》伝 張遠筆 絶海中津賛
絵:中国・元時代 14世紀 賛:室町時代 14～15世紀
相国寺蔵 【前期展示】 重要文化財

後水尾天皇が寄進したという記録がのこる、狩野三兄弟による合作。

《観音猿猴図》狩野探幽、狩野尚信、狩野安信筆
江戸時代 正保2年(1645) 相国寺蔵
【前期展示】

『隔蓂記』の時代——復興の世の文化

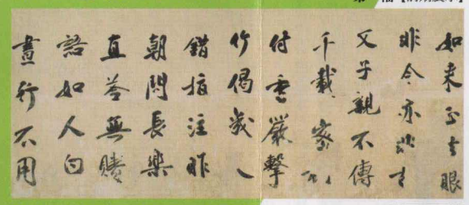
騎牛帰家

禅とは？悟りとは？人と牛との関係がその答えを解き明かす。

《十牛図巻》(部分) 伝 周文筆
室町時代 15世紀 相国寺蔵

高僧・無学祖元が長楽寺の一翁に与えた書。江戸初期、鑑定した上で購入したことが判明している。

第一幅【前期展示】



《無学祖元墨蹟 与長楽寺一翁偈語》無学祖元筆 国宝
鎌倉時代 弘安2年(1279) 相国寺蔵
※4幅のうち前後期各2幅展示

未来へと育む相国寺の文化——〝永存せよ〟

全長4メートル。そこに広がるのは、絵画というよりもバーチャルリアリティの世界。

《大瀑布図》
円山応挙筆
江戸時代
安永元年(1772)
相国寺蔵【後期展示】
重要文化財

相国寺コレクションに、新たにこの名作が加わった。お帰りなさい、雪舟。

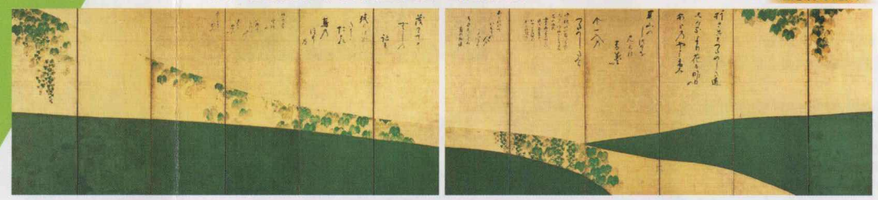
《毘沙門天像》
雪舟筆
室町時代 15世紀
相国寺蔵
【後期展示】
重要文化財

花の文様が浮かび上がる天目茶碗の優品。この国宝が相国寺に入ったのは近年のこと。

《玳玻盞散花文天目茶碗》
吉州窯
中国・南宋時代
12～13世紀 相国寺蔵
【前期展示】 国宝

琳派の祖と呼ばれる俵屋宗達。その大胆で明快なデザイン性が際立った作品。

《蔦の細道図屏風》伝 俵屋宗達筆 烏丸光広賛 江戸時代 17世紀 相国寺蔵【後期展示】 重要文化財



災難と寿福を絵解きするために制作された3巻の絵巻。応挙は完成に3年の月日を費やした。

《七難七福図巻》円山応挙筆 江戸時代 明和5年(1768) 相国寺蔵 ※会期中、部分巻替えがあります。 重要文化財

天災巻(部分)